

看板のまち大阪で もっとオモロイものを

大阪の看板は、個性的で凝っていて、それだけで観光スポットになるほどの魅力的です。今回は、真田山地域で看板やオブジェを制作している「カムソン・アート」代表の吉本裕司さんにお話を伺いました。

カムソン・アートの作品は、三光神社の「幸村ねぶた」(表紙)をはじめ、区役所玄関前の「ももんちゃん」ほか、ビルの壁面、居酒屋の看板など多数あり、目にしたことがある人も多いはず。作品には、様々な技法が使われていますが、中でも個性的なのが「ねぶた風」看板。ねぶたに着目したのは、吉本さん



完成作品展示
完成作品を天王寺区役所1階で9月1日(金)~29日(金)に特別展示します。

▲設計図となる下絵を描き、それをもとに角材で支柱を組み、針金で形を作っていく。表面に和紙をひとマスずつ貼っていき、その後墨入れ、色付けへ。



▲区役所前に設置された、ももんちゃんのおブジェ。夜はライトアップされる。

が現在の会社を開業する前でした。「お祭りのパレードで運行する造形物の制作を頼まれたとき、参考にみたパンフレットの中にねぶたを見つけ、「これだ!」と直感しました」

作りたい意欲があつても、当時フリー

「ねぶたの作り方に関する本を何冊も読み、本場青森のねぶた師にも電話で問い合わせました。手探りでしたけれど、苦労の甲斐あつて、パレードでは大好評。すっかりねぶたに魅了されて、ねぶたで新しいタイプの看板をつくらうと転職、開業しました」

町会の皆さんの後押しで 幸村ねぶたが三光神社に

難しいオーダーがあれば「職人魂がメラメラと湧き上がるのを感じる」という吉本さん。これまでの技術の集大成になっているのが三光神社に飾られている「幸村ねぶた」です。昨年NHKの大河ドラマ「真田丸」が話題になっていた頃のこと。

「近くの居酒屋で飲んでいたとき、

ランスの演出家だった吉本さんには、看板作りの経験がなく、何から始めていいのか分かりません。

「ねぶたの作り方に関する本を何冊も読み、本場青森のねぶた師にも電話で問い合わせました。手探りでしたけれど、苦労の甲斐あつて、パレードでは大好評。すっかりねぶたに魅了されて、ねぶたで新しいタイプの看板をつくらうと転職、開業しました」



▲口を溶かし模様を付けるのもねぶたの特徴。塗った部分は明るさが増し、色のにじみも防ぐ。



▲カムソン・アート代表 吉本裕司さん。

「オーナーから「片付けても翌日には、またゴミが置いてある。何とかならないか」と相談を受けました。ゴミを置

「アイデアマンですね」とよく言われますが、アイデアの源は、お客様の望みを引き出してカタチにしているだけ」

マンション前の不法投棄防止の看板にはこんなエピソードがあります。

お客様の思いを引き出し カタチにするのが楽しい

「幸村ねぶたを作ること、地域が一つになるきっかけになれた気がします。私自身も、これまで以上に地域の力になりたいという気持ちが強くなりました」

「真田山もスポットを浴びているし、町内でも何か喜んでもらうことができればいいな」という話が聞こえてきて、隣をみると町会の皆さんでした。すぐに「幸村ねぶたを作りませんか」と声をかけたら、二つ返事でのつてくれました」

吉本さんは、納得してもらうために企画書をつくり、予算も含め提案しました。企画は大層気に入られ、町会の皆さんは早速、制作に必要な資金集めに動いてくれたそうです。

「犯人の執拗さから考えて、『不法投棄禁止』の看板を立てたぐらいでは解決できないだろう、そう思っていたとき、オーナーが「置けないようにしてほしい」とおっしゃった。置けないようにするには斜めにすればいい!と斜めの看板を制作。ヒントはお客様が与えてくれました」

カムソン・アート
空堀町15-23
☎6761-1677
camsonart.com

「区内に店を構え23年、地域の皆さんに助けられて今の暮らしがあります。これからも、ここで培った技術を生かして、まちの盛り上げに貢献できたらと思っています。訪れた人たちが「天王寺区の看板は違うなあ」と言ってもらえるようなユニークで味のある看板づくりにチャレンジしていきます」

看板が設置されてから、不法投棄は無くなったそうです。

商用目的だけでなく、地域を良くする看板も多く制作している吉本さんにまちへの思いを伺いました。

「区内に店を構え23年、地域の皆さんに助けられて今の暮らしがあります。これからも、ここで培った技術を生かして、まちの盛り上げに貢献できたらと思っています。訪れた人たちが「天王寺区の看板は違うなあ」と言ってもらえるようなユニークで味のある看板づくりにチャレンジしていきます」

「犯人の執拗さから考えて、『不法投棄禁止』の看板を立てたぐらいでは解決できないだろう、そう思っていたとき、オーナーが「置けないようにしてほしい」とおっしゃった。置けないようにするには斜めにすればいい!と斜めの看板を制作。ヒントはお客様が与えてくれました」

「犯人の執拗さから考えて、『不法投棄禁止』の看板を立てたぐらいでは解決できないだろう、そう思っていたとき、オーナーが「置けないようにしてほしい」とおっしゃった。置けないようにするには斜めにすればいい!と斜めの看板を制作。ヒントはお客様が与えてくれました」

「犯人の執拗さから考えて、『不法投棄禁止』の看板を立てたぐらいでは解決できないだろう、そう思っていたとき、オーナーが「置けないようにしてほしい」とおっしゃった。置けないようにするには斜めにすればいい!と斜めの看板を制作。ヒントはお客様が与えてくれました」



▶ 精魂込めて作られた作品。灯りを入れるとあたたかい表情になる。

▶ 片手で使えるハンダゴテ。20年の愛用品。針金を固定する道具で、温めればすぐはがせ、微調整も容易に。

クローズアップ+天王寺

ねぶた風アート看板で まちを盛り上げたい

目次	●保健衛生	●4	●おおさか掲示板	●9
●クローズアップ天王寺	●子育て情報	●5	●天王寺区民まつり/大阪・熊野街道歴史ウォーク/みんなの健康展	●12
▶カムソン・アート	●イベント情報	●6		
●お知らせ	●わがまち天王寺	●8		